

年 組 名前：



早川北小の自然教育プログラム 人気 体験イベント 応募殺到

早川町が2026年度、早川北小に導入した、体験型教育プログラム「プロジェクト・ダーウィン」で、8月に実施するプログラムの体験イベントに多くの申し込みが寄せられている。定員7組に対して180組の応募があり、町は「予想以上の反響。町への山村留学や移住につなげたい」としている。

町教委によると、プログラムでは児童が南アルプス県野鳥公園（同町黒桂）の研究者のサポートを受けながら動植物の生態などを観

察・記録し、仮説を立てて実験などを行い、検証結果を発表する。外国語指導助手（ALT）の増員によって英語学習も充実させる。高度な探究教育を展開し、移住や山村留学の促進につなげる狙いがある。

8月の体験イベント「親子サイエンスキャンプ」は4泊5日の日程で実施。ムササビの生態調査やALTとの交流などを予定している。5～6月に参加者を募ったところ、定員の25倍以上の応募があり、現在町が

選考を進めている。町教委によると、応募は東京圏から多数寄せられ、担当者は「定員は上回るかもしれないと考えていたが、ここまで応募があるとは全く考えていなかった」と驚く。

深沢肇町長は「小規模校ならではの独自性の高い教育への注目と期待の表れだと考えている。第2弾の開催も含め、応募者には町の魅力をしっかりと伝える機会を設けたい」と話した。

〈飯野終平〉

（2026年7月9日付 山梨日日新聞19面）

問1 早川町が早川北小に導入した、体験型教育プログラム名を教えてください。

.....

問2 次の文章の①から⑤に当てはまる言葉を、教えてください。

『早川北小の体験型教育プログラムは、①の生態などを観察・②し、③を立て、
④などを行い、⑤を発表する』

①..... ②..... ③..... ④..... ⑤.....

問3 早川町は、この取り組みを行うことで、何につなげたいと考えていますか。

.....